

# 初年次教育のための少人数ゼミに eポートフォリオを利用した事例

福井県立大学  
学術教養センター  
山川 修

# 目次

- 背景
- 少人数ゼミ概要
- LMSとePFの利用
- アンケート結果
- まとめ

背景

# 背景(1)

- 福井県立大学では、2002年4月からLMS (WebCT)を導入し、学内利用を図ってきた
- LMSによる学習成果物の蓄積と学生へ容易にフィードバックができる機能の便利さを実感
- 山川が担当する全ての科目でLMSを利用
  - 資料の提供、小テストの実施、課題の提出、ミニツツペーパーの記入等
- 少人数ゼミ(協調学習)の中で、LMSを利用して見たが、個人の振り返りに使うのが難しい

## 背景(2)

- eポートフォリオ (ePF) が、協調学習にどう利用できるかに興味があった
- 2008年に連携GPによりフレックスを開始
  - フレックスの基盤システムとしてePF (Mahara)、LMS (Moodle)、SNS (OpenSNP) を整備
- 2009年から初年次学生対象の少人数ゼミ (テーマ: テレビを読もう!) に利用
  - 2009年: 課題をアップするだけ
  - 2010年: 毎回の記録→振り返りに利用
  - 2011年: ピア・レビューを取り入れた

# 少人数ゼミ概要

# 少人数ゼミ概要

- 新生が必修科目として受講(15人/クラス)
- 「読み、書き、話す」力をつけるのが目標
- 山川は「テレビを読もう！」というテーマで開講
  - 受講生が、メディアからの情報を、クリティカルに読み解く態度を身につける
  - 自分のアイデアを話し、人の話を聞き、考えるというプロセスのトレーニング
  - 自分のアイデアを人前で話す(プレゼンテーション)のトレーニング
  - このうち、ePFは「考える」部分をサポート

# 少人数ゼミで取上げた項目

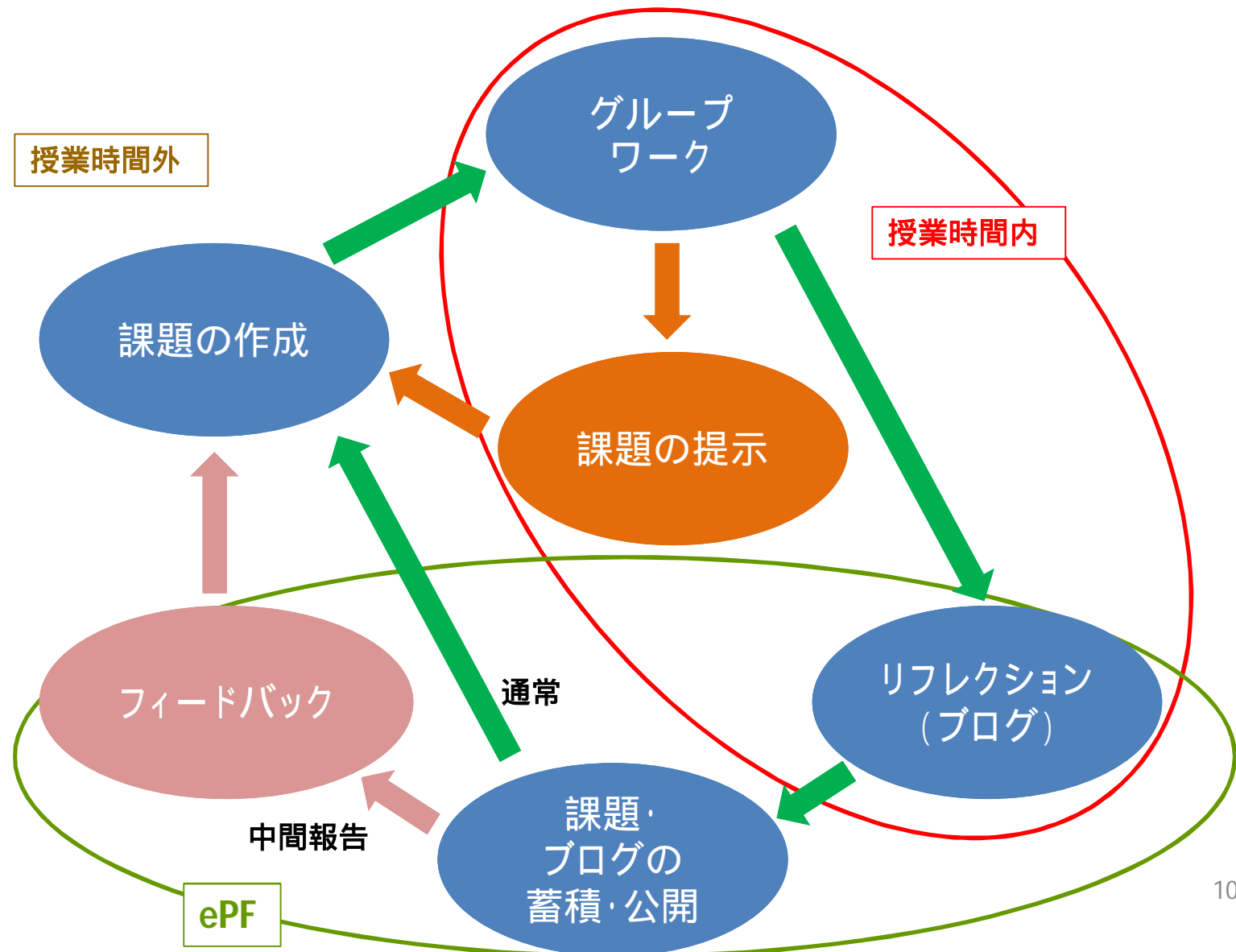
- 情報操作ビデオ視聴(最初に衝撃を与える)
- メディア自分史、メディアログ(メディアとの関係)
- ディベート、社説分析(トゥールミンの議論のモデル)
- CM分析(メディアのメッセージを読み解く)
  - 数量、映像言語、ターゲット、提示する価値観
- ワールドカフェ(このゼミで何を学んだか)
- 個人で口頭発表(このゼミで何を学んだか)



# 少人数ゼミの大まかな流れ

- ミニ講義 (20分)
  - メディアリテラシーとは、メディアの8つの基本概念
  - メディア研究モデル、クリティカルシンキング
  - 議論のモデル、ePFの概念と使い方
- 課題をもとにグループワーク (30分)
- グループワークの結果をクラスに報告 (20分)
- 来週の課題の説明 (10分)
- 何を学んだかをブログに記入・公開 (10分)
- 途中で、ゼミの中間報告を2回作成
  - グループの他メンバーからのフィードバック

# 少人数ゼミの授業内・授業外での流れ



# LMSとePFの利用

# LMSとePFの使い分け

- LMS: **授業のポータル**
  - 授業で実施する項目リスト
  - 課題のためのファイルの配布
  - 各社CMへのリンク
- ePF: **個人の学習成果を蓄積・公開する場所**
  - 記入した課題ファイル
  - 毎回の学習の振り返りを記したブログ
  - 中間報告ファイル
  - 中間報告に対するフィードバック
  - 他メンバーからのフィードバック

# LMSのサンプル画面

## 1 第1回(4月13日)

- ・大学における履修の説明
- ・グループ分け
- ・情報操作ビデオ視聴
- ・リーダー決め
- ・連絡網づくり
- ・Mahara利用の説明

### 宿題

- ・授業中に見た情報操作ビデオの感想を400字程度でまとめてくること。




## 2 第2回(4月20日)

- ・メディアリテラシーとは
- ・メディアの8つの基本概念の解説
- ・Flexus eポートフォリオの操作説明
- ・前回見た情報操作に関する感想をグループ内で意見交換+発表

### 宿題

- ・メディア自分史の作成

 [メディア自分史WS](#)



## 3 第3回(4月27日)

- ・eポートフォリオ操作説明(続き)
- ・メディア研究モデル(テキストvsオーディエンスvs制作)の説明
- ・メディア自分史に関するグループワーク

### 宿題

- ・メディアログの作成

 [メディアログWS](#)



# ePFのサンプル画面

## の導入ゼミのページ

### 課題ワークシート

- メディア自分史.doc  
31.5KB || 詳細
- media-log.doc  
36.5KB || 詳細
- 情報操作のビデオを見て.docx  
13.5KB || 詳細
- 中間報告1.docx  
14KB || 詳細
- 中間報告2.docx  
11.9KB || 詳細
- NumberOfCM.doc  
33KB || 詳細
- CM2.doc  
36.5KB || 詳細
- CM3.doc  
36KB || 詳細
- TargetAudience.1.doc  
36KB || 詳細
- CM1.1.doc  
36KB || 詳細
- Value.doc  
33KB || 詳細
- 最終報告.docx  
14.4KB || 詳細

### 導入ゼミ(山川)

導入ゼミ(山川)

#### 7月20日のゼミ

この日は最後のゼミということで、みんながそれぞれ「このゼミを通して学んだこと」などの発表でした。

今までたくさん人前で発表をしてきましたが、やはり一人だと  
なると緊張しました。

このゼミでは、私は「価値観」ということを考えるきっかけにな  
りました。

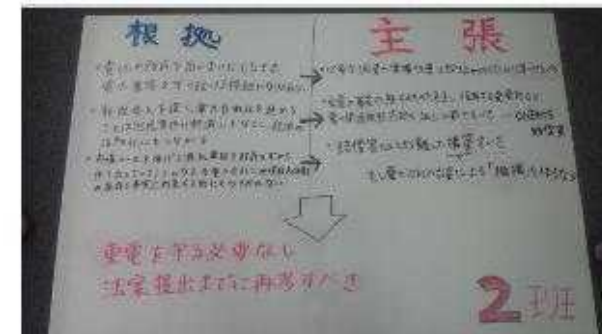
自分のことを振り返ったり、考えたりすることが苦手だったので  
避けてきたのですが、このゼミをきっかけに自分について  
考える機会が多くなった気がします。

あと、15秒や30秒の短いCMの中で商品の良さを宣伝し、さら  
に買ってもらうというところまで持っていくのは、本当にすごい  
ことだなと思いました。

普段何気なく見ているCMからでも「価値観」を変えてしまうこと  
があるのだから、この世の中には自分の「価値観」に影響  
を与えるものはたくさんあるのだろうな...と思いました。

そう考えると恐ろしいなと思います。

### 社説分析 2班



# ePFのフィードバック画面

## フィードバック

◎中間報告1を読んで

メディアとの関係を見つめ直し始めた所が素晴らしいです。このゼミの趣旨は、TVを見ないようにするというものではないですよ。沢山見て、テレビ番組を読んでみてください。



山川 修 (yamakawa@fpu.ac.jp) | 2011年 06月 08日 11:08

@中間報告1を読んで

僕も知らないうちにテレビから影響を受けていると知り、とても怖いとおもいました。人に自分の意見を言うことが前よりできるようになったことは、すごいと思います！



匿名希望 (匿名希望@s.fpu.ac.jp) | 2011年 06月 22日 10:56

このゼミを通してメディアについての考え方が変わったのがよくわかりました(^\_^)

私もメディアについての色んな考え方見直したいなあとします！！



匿名希望 (匿名希望@s.fpu.ac.jp) | 2011年 06月 22日 10:57

◎フィードバックをしてもらって・・・

ほかの人に自分の書いたものを読んでもらって、しかもその感想を聞くのはすごく苦手で、何を言われるんだろう・・・と不安でしたが、聞いてみると「こう思われるのか」とか気づくことができたし、見てもらうものだなと思いました。



匿名希望 (匿名希望@s.fpu.ac.jp) | 2011年 06月 22日 11:15

●中間報告2を読んで●

CMを注意して見ると、確かに普段気づかないところに気が付けたと思います。でも同じように、ターゲットなどを考えるととなると難しいと思いました。

CMを見る際に、「調べる」というのは良いと思いました。



匿名希望 (匿名希望@s.fpu.ac.jp) | 2011年 07月 06日 23:16

●中間報告2を読んで

老若男女ではなく、ターゲットを絞ることも必要だ、というところに共感しました。

そっちのまうが企業にとっても情報発信しやすいのかもしれないね。



匿名希望 (匿名希望@s.fpu.ac.jp) | 2011年 07月 12日 22:31

中間報告2を読んで

今の自分に引きつけて感想を書いているとことは大変良かったです。実は、CM分析でも、自分の価値観との相互作用から、自分自身とCMとの関係を探って欲しかったのですが、ちょっと難しかったかもしれません。



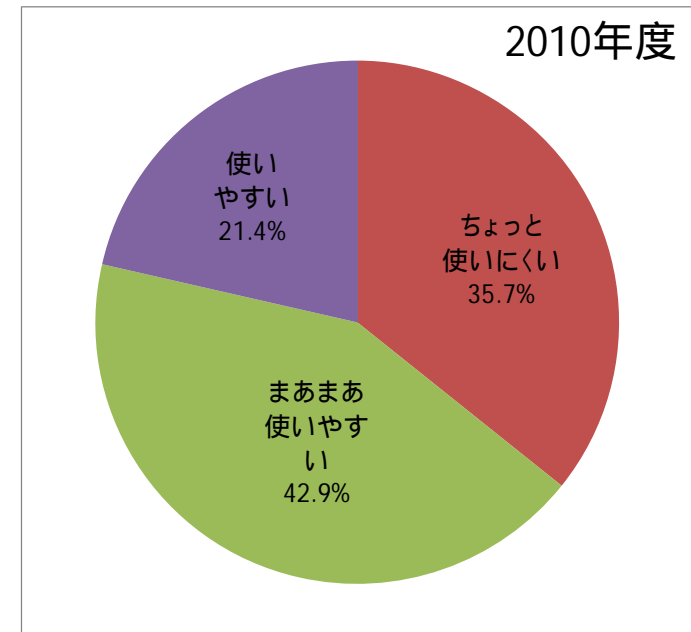
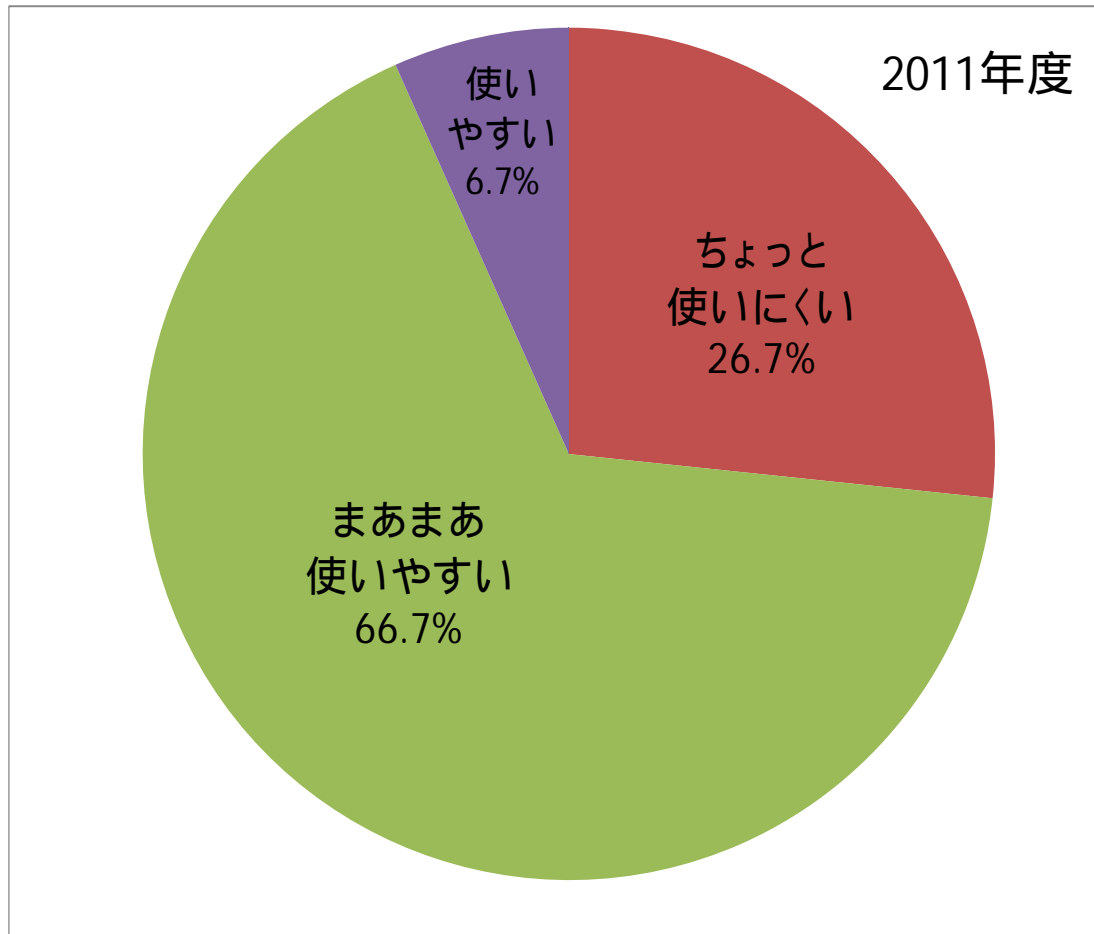
山川 修 (yamakawa@fpu.ac.jp) | 2011年 07月 19日 16:35

# アンケート結果



# アンケート結果（１）

Q: Maharaの使い勝手  
はどうでしたか？

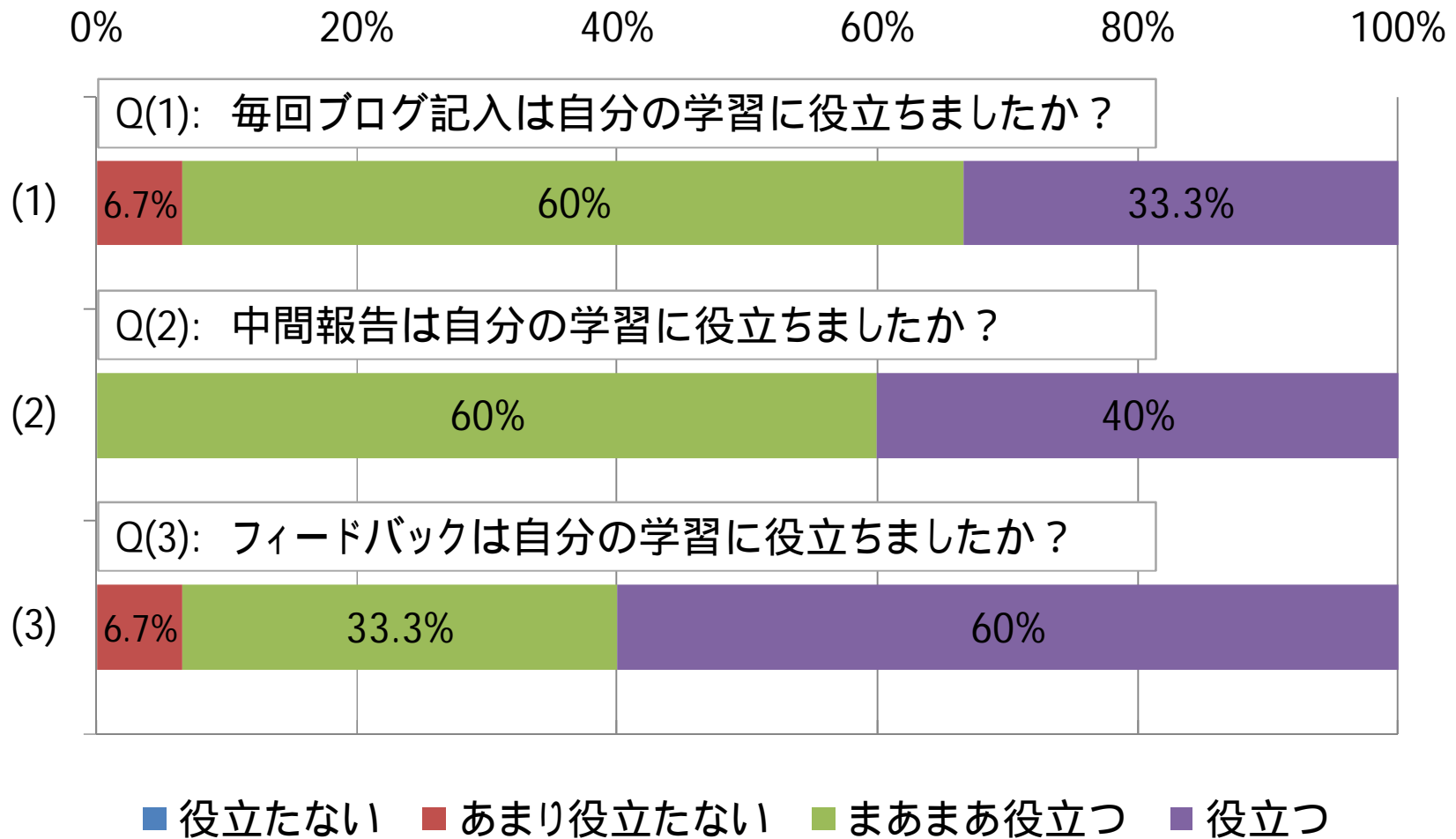


# Maharaの使い勝手に関する記述

- 分かりにくかった。
- なんとなく使いにくかった。
- 見づらい。ややこしい。
- 最初の使い方さえわかれば、ブログをUP出来たり、自分のワークシートなどをUPできたのがよかったです。
- 慣れるまでは大変だったけど、慣れるとよかった。
- 授業のまとめなどを簡単に行えたからです。

# アンケート結果（2）

2011年度結果



# アンケート結果（3）

2010年度結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Q(1): 毎回ブログ記入は自分の学習に役立ちましたか？

(1)

14.3%

21.4%

28.6%

35.7%

Q(2): 中間報告は自分の学習に役立ちましたか？

(2)

7.1%

7.1%

50.0%

35.7%

■ 役立たない

■ あまり役立たない

■ まあまあ役立つ

■ 役立つ

# 毎回のブログ記入に関する記述

- 過去にやったことを見直せるのでよかったかなと思います
- パソコンに慣れる練習になったから。
- 詳しく書いておいたので、中間報告を書くときにも具体的に書くことができた。
- 自分がその日のゼミで学んだことを書くことで、後で中間報告などを書くときに、振り返ることがしやすかったのでいいと思いました。
- 中間報告を書くときにとても役立ったので、毎回のブログも頑張っ  
て書くことができました。
- 中間報告等で自分の考えをまとめるときに役立ちました。そのときに自分が考えていたことをはっきり思い出すことができました。
- 自分の一回の授業ごとに学んだことのまとめができた

# 中間報告の有効性に関する記述

- 過去の授業の内容を思い起こすことができた
- 過去にやったことを見直せるのでよかったかなと思います
- 自分が学んできたことの振り返りをまとめられた。日記にわりと具体的に書いてしまっていたので同じことを何度も書いたような感じがした。
- 1度にすべての授業を振り返るよりも少しずつ振り返ることで、自分が何を学んだのかを書きやすかったです。
- 最終報告に役立ついいまとめになっていると思う。
- 自分の学んできたことを整理できたので良かったです。
- 自分が今まで何をしてきたかをふりかえることができた。

# フィードバックの有効性に関する記述

- 人からの評価で、自分の考えが客観的にみることができたから
- 共感してもらえるとうれしかったし、逆にそういう意見もあるんだと知れたこともよかった。
- みんなの意見が違っていて考えさせられたから。
- 自分がまとめた方法や考えについて人からの意見が客観的に知ることができた。
- 普段、自分の書いたことを先生は別として、**同級生の人に読んでもらう機会はない**ので、どんな風に思うのかとか知るきっかけになったのでいいと思いました。
- 自分の書いたことに対してほかの人がどう思っているのかとかを知ることができるのでよかった。
- **自分と同じ考えの人もいたし、まったく違う視点から物事を考えている人もいました。フィードバックを行うことで他人の考えを知り、それを自分と比べたりすることでさらに自分の考えを深めていけたのでよかったです。**
- 他者の価値観を参考にできたので自分にとって糧になった。

まとめ



# まとめ

- Maharaの使い勝手は比較的良い(73%)
  - ただし、授業設計と活用ガイドによる
- ブログ、中間報告による振返りは評価が高い
  - まあまあ役立つ(60%) + 役立つ(33 ~ 40%)
- **フィードバックはさらに評価が高い**
  - まあまあ役立つ(33%) + 役立つ(60%)
- **協調学習の授業をする場合、ePFの使い勝手の評価は授業設計の評価と分離が難しい**
- **物理的な空間設計も重要かも**